

今月は元気の出る報告を皆さんに。

一つは、ブエノスアイレスで開催された「第3回ユースオリンピック」ダンススポーツ・ブレイキンの部において、本校2年生 河合来夢さんが女子ブレイキング、混合団体の部で見事金メダルに輝きました。帰国後、金メダルをもって、校長室に挨拶に来てくれました。ご家族の奨めで始めたダンスだそうです。実は大会当日も怪我を抱えていた状態だったのだそうですが、金メダルを二つも報告してくれる結果になりました。ダンスの話をする河合さんは表情も生き生きとしていて、ダンスが好きなんだということがよく伝わってきました。本校新聞委員会も6月から特集を組んで取材していました。これからも特集は続くようですので、ぜひお子さんに借りて読んでみてください。

次に、修学旅行が無事終了しました。

天候にも恵まれ、沖縄の海を楽しみ、そして、初日のガマへの入豪や平和祈念館で、戦争に思いをはせ、今の平和の尊さを感じ取ってくれたことと思います。

さて、修学旅行の始まりは明治時代からで、その目的は心身の鍛錬と規則正しい集団行動を目指す兵式訓練的要素と実物に触れることを重視する校外学習の要素、親睦の要素があったようです。現在では特別活動における学校行事となっていますが、集団行動、校外学習の意義、親睦の意義は変わりません。そこにそれぞれの学校の目的を明確にして、行き先を決定しています。

本校修学旅行の目的は「平和学習」、「集団行動」、「人とのふれあい」となっており、次年度からは民泊体験が新たに始まります。これには、SNSが普及した現代社会において、家族はもとより、多くの人と触れ合い、その表情や会話から人とつながり、人の中で生きる力を身に付けさせたいという思いでその方針を一部変更しました。とはいえ、生徒たちにとって、大切な思い出になることは変わりません。次年度も天候に恵まれ、無事に終了することを今から願うばかりです。